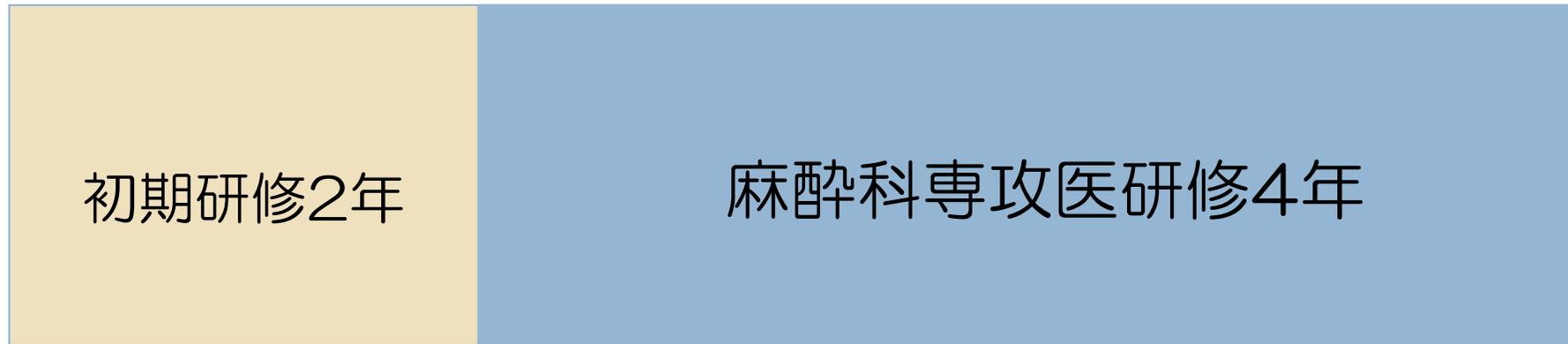


手稻溪仁会病院
麻酔科専攻医プログラム



麻醉科専攻医制度



2017

募集人数 3名予定

麻酔科専攻医研修プログラム

- 麻酔科では2015年から学会認定専門医研修プログラムがスタート
- 病院群にて研修システムを構築
- 専門医プログラムに所属にて専門医認定資格が得られるシステム
- 当科では2015年度2名、2016年度3名、2017年度2名の登録
- 2016年度プログラムで1名他プログラムより移籍あり

手稻溪仁会麻酔科研修プログラム

- 基幹連携
 - 北海道大学
 - コドモックル
 - 千葉子ども病院 (2015年度)
- 集中治療との比重も希望に合わせて行っている
- 初期研修制度導入後から麻酔科研修医がいたため、周囲も長い経験をもち、いろいろな意味で温かく見守られている

手稻溪仁会麻酔科専攻プログラム



術前から術後まで一貫した周術期管理

- 緻密で術後も想定した術前評価
- 安全かつ術後を見据えた麻酔管理
- 集中治療を備えた術後管理

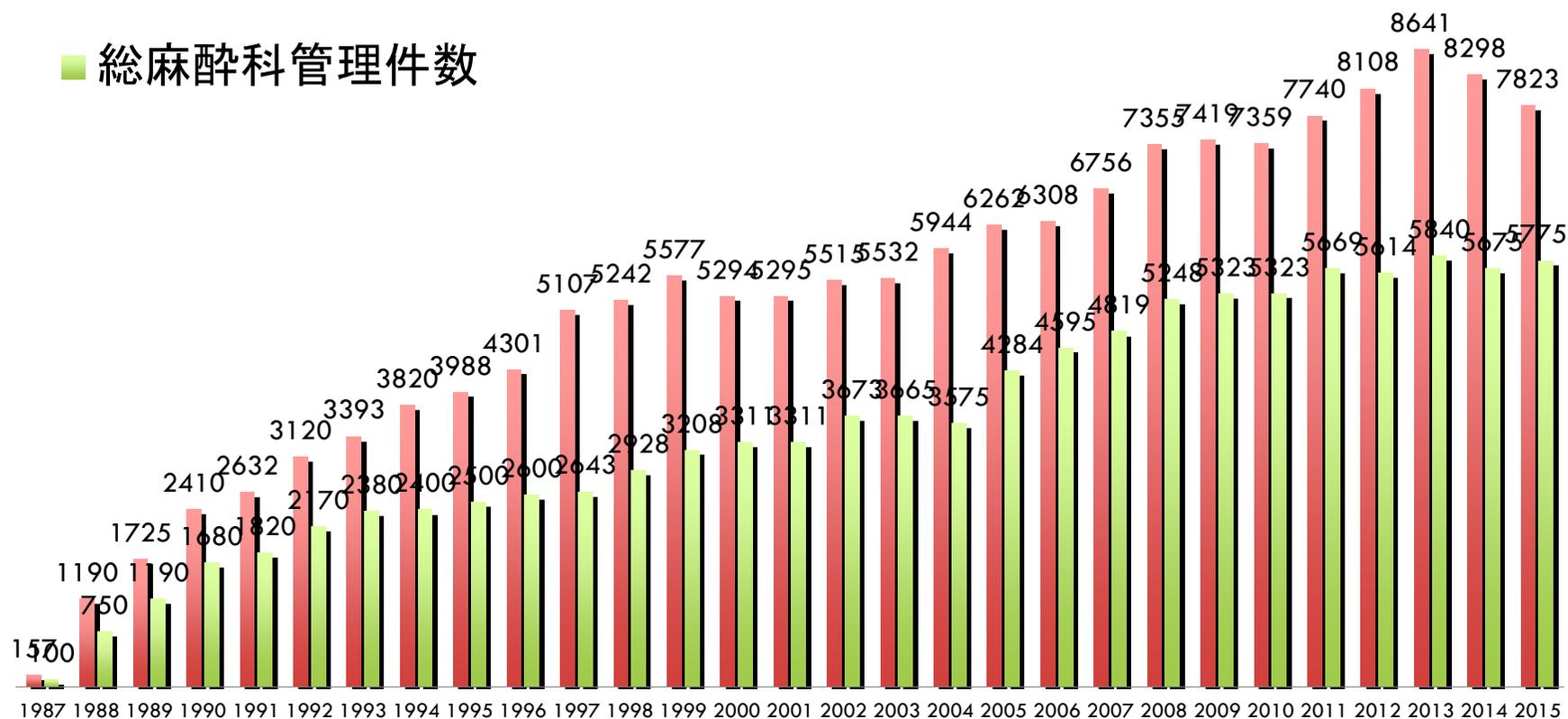
TKH 麻酔科・集中治療室

- スタッフ 11名(指導医 8 名・専門医 2名)
 - ▣ >20年 4
 - ▣ >10年 6
 - ▣ ≤10年 1
- 後期研修医 or 専攻医 10名
 - 麻酔科プログラム専攻医1年目 2 名
 - 麻酔科プログラム専攻医2年目 5 名
 - 麻酔科プログラム専攻医3年目 2 名
 - 麻酔科後期研修5年目 1名

TKH年間手術・麻酔件数の推移

■ 総手術数

■ 総麻酔科管理件数



2016年度手術件数

- 全手術件数 8180件
- 麻酔科管理件数 6030件
 - 定期・待機臨時 5244件
 - 緊急 786件
 - 手術室外 54件

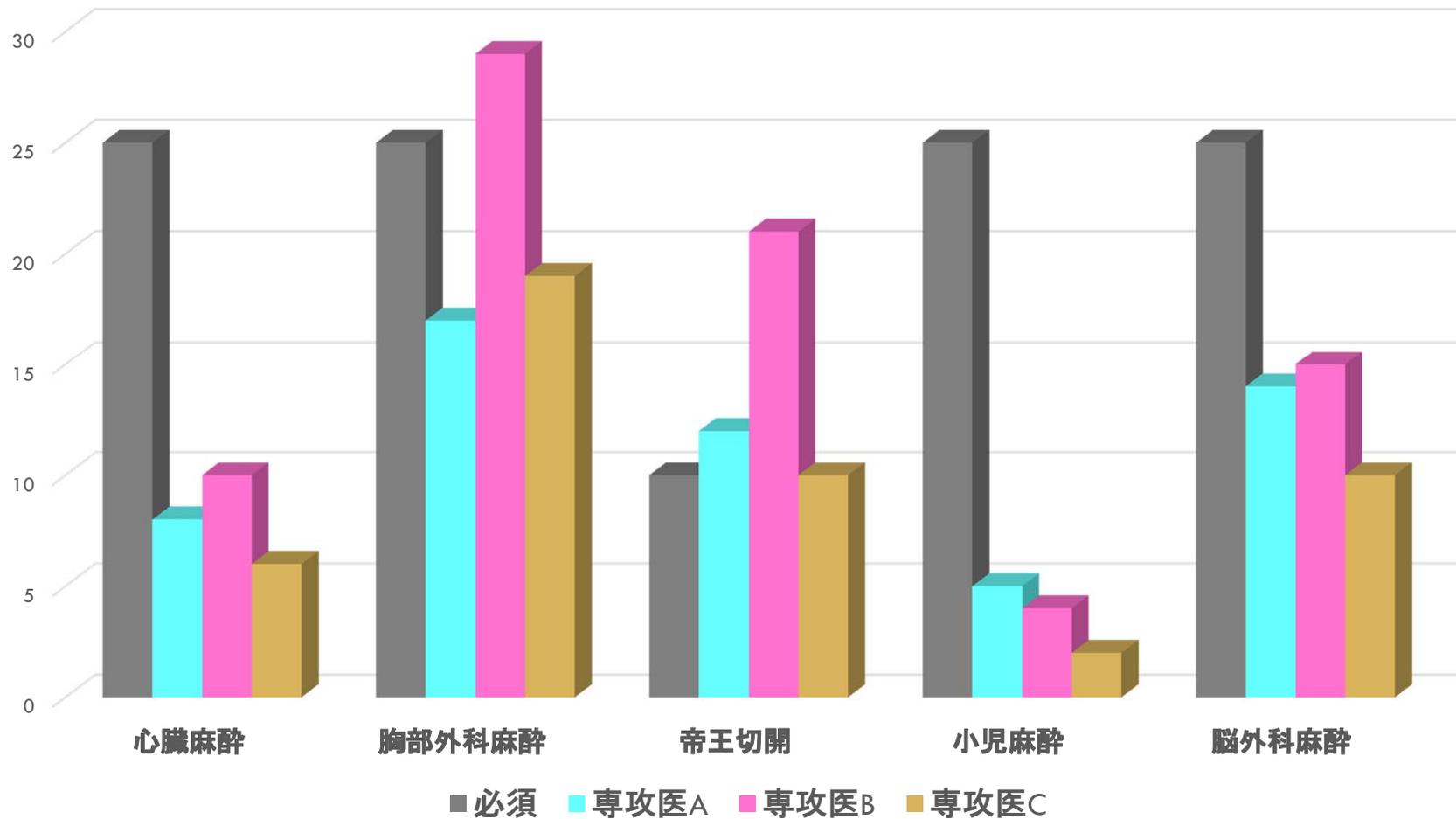
定期・緊急ともに十分な症例数を有しています

経験必要症例数(4年間)

| | | 当院実績 2015 | 2016 |
|-----------|-------|-----------|-------|
| □ 6歳未満小児 | 25例 | 113例 | 111例 |
| □ 帝王切開術 | 10例 | 168例 | 179例 |
| □ 心臓血管手術 | 25例 | 160例 | 173例 |
| □ 胸部外科 | 25例 | 172例 | 180例 |
| □ 脳神経外科手術 | 25例 | 169例 | 173例 |
| □ 麻酔管理症例数 | >600例 | | 6030例 |

経験必要症例数も十分な症例数を有しています

2016年度 専攻医1年目経験数



1年目でも多くの麻酔経験を積んでいます

特殊手術

- 当院で経験できないもの
 - 小児特殊手術
 - 横隔膜ヘルニア、唇顎口蓋裂、腹壁破裂
 - 各臓器移植手術
 - 脳死臓器摘出手術はあり
 - 複雑心奇形
 - 今後再開の可能性
 - いくつかの先進手術
 - 幹細胞移植
 - 細胞シート

連携施設で研修

特殊手術

- ダ・ヴィンチ手術 北海道で初
 - 前立腺全摘 80例/年
 - 子宮全摘、肺葉切除、膀胱全摘、腎部分切除、胃切除
- ハイブリッド手術室
 - 大動脈ステント 東日本で初Najutaステント
 - Amplatzer
 - PTAV
 - TAVI(PAVR) 北海道初
 - 脳外科手術

先進医療に積極的に取り組んでいる施設です！

集中治療室

- 16床
- 小児以外closed ICU
 - ▣ 小児科医研修のため
- 858例/年
- 幅広い症例
 - ▣ 心臓術後、重症外科術後、緊急手術後
 - ▣ 敗血症、重症肺炎、重症心不全、腎不全
 - ▣ 蘇生後
 - ▣ 頭部外傷
 - ▣ 小児重症救急

**幅広い重篤な疾患群の
治療が行われています**

集中治療専門医

- 集中治療専門医は subspecialty
- 専門医資格
 - 麻酔学会、救急医学会、外科学会、心臓血管外科学会、呼吸器外科学会、小児外科学会、消化器外科学会、内科学会、循環器学会、脳神経外科学会、小児科学会、呼吸器学会
 - 今後は今のところ不明

参考:これまでの様々な研修施設

- 福岡市立こども病院
- 国立循環器センター
- 葉山ハートセンター
- 千葉こども病院
- 埼玉医大総合医療センター
- 東京女子医大
- 聖路加国際病院
- 北海道立こども病院
- 新東京病院

これまで当科メンバーが研修に行った施設です。

今後連携施設も必要に応じて拡大していくことも考えています。

当科の最大の特徴

- 常に前向きなスタッフ
 - ▣ どんな困難な場面でもあきらめず
 - ▣ どんなに忙しくても手を抜かず
 - ▣ 各科のあらゆるニーズに対応
 - ▣ 常に上質な医療を目指す
- 各科との意思疎通がきわめて良好
 - ▣ 患者の治療に対しては各科の上級医とも対等
- プライベートも有効に

一緒に研修しましょう！

